仕様

倍率	2.5X
対物レンズ径	40 mm
明るさ	F1.2
増幅器	Gen 1+
視界	60 – 80 m
距離範囲	1mから無限遠
寸法／重量	170 x 79 x 50 mm / 335 g
バッテリー	CR 123Aリチウム

運用時間	IRなし	60時間
	IR使用	25時間
運用温度範囲		-30℃から50℃
保管温度範囲		0℃から60℃
耐湿度		IPX4
相対湿度		93%まで
赤外照射器		装備
三脚座		装備

MINOX日本総代理店

KOMAMURA CORPORATION

株式会社駒村商会

〒103-0013
東京都中央区日本橋人形町3-2-4駒村ビル
TEL 03-3639-3351　FAX 03-3808-0115

お買い上げ製品に関するご質問・修理のお問い合わせは

株式会社駒村商会
カストマーサービス **TEL.03-3639-3351**

●"MINOX" "ミノックス"は、ドイツMINOX GmbH社の登録商標です。

●この取扱説明書に記載の外観・仕様は予告無しに変更される場合があります。
●この取扱説明書は2012年3月現在のものです。

この度はミノックスNV351ナイトビジョンスコープをお買い上げいただき、ありがとうございます。本製品は、高機能ながら操作は容易で、夜間の動物生態観察などで威力を発揮するナイトビジョンスコープです。本製品の性能を最大限に引き出し、安全で快適に使用していただくためにこの説明書の内容を良くお読みください。

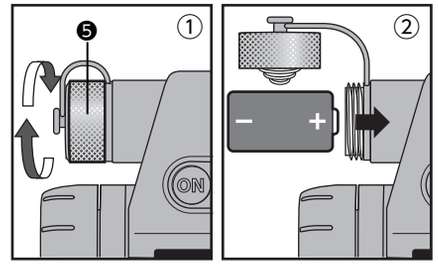
NV351ナイトビジョンスコープについて

この高品質光学電子製品は第一世代の残余光増幅器を搭載し、薄明り、月明かり程度の光量条件下でも、そして赤外照射器を併用すれば暗闇でも、野生動物の生態観察や方向探知などで威力を発揮します。使用温度範囲は-30℃から50℃(保管温度範囲は0℃から60℃)。コンパクトで操作は容易。適切な保守を行っていただければ永くお使いいただけます。

バッテリーの装填

⚠ バッテリー装填前に、必ずレンズがレンズキャップで保護されていることをご確認ください。

①右図のように、バッテリー収容部❺のふたを矢印の方向に回して開けます。
②右図のようにCR 123Aバッテリー1個を入れます。
※極性(±)に注意してください。
③バッテリー収容部❺のふたをしっかり閉めてください。



MINOX
GERMANY

NV 351

ミノックス ナイトビジョンスコープ

取扱説明書

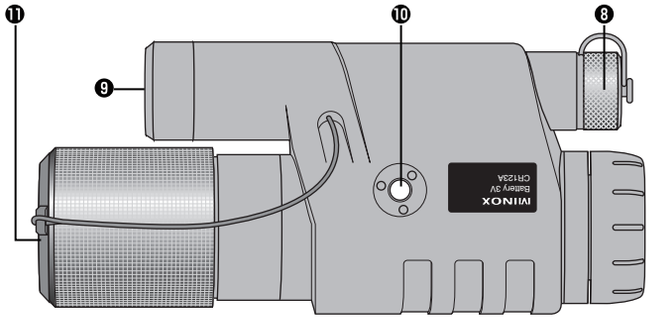
重要留意点 ※ナイトビジョンスコープは繊細で精密な製品です。以下の注意事項を守ってください。

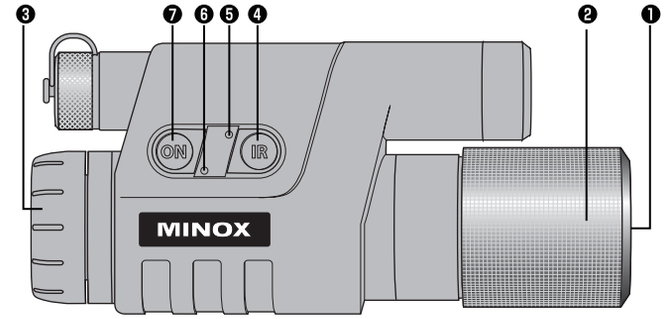
※日中に使用する場合、レンズキャップは絶対に外さないでください。日中に使用する場合のためにキャップの中央部に小さな開口部が設けてあります。
※絶対に本製品で(昼夜を問わず)直接太陽や光源などを見ないでください。眼に重大な損傷を与えます。

※絶対に銃に搭載しないでください。衝撃で損傷を受ける場合があります。
※絶対にご自身で分解・加工しないでください。
※本製品を使用しない時は常にレンズキャップを装着しておいてください。また、長期間使わない場合はバッテリーを取り外してください。
※必ず本書で指定する電池を使用し、「+」「ー」極性を正しく入れてください。
※外部電源は使わないでください。
※電池を火に近付けたり、ショート、分解、加熱しないで下さい。
※万一、本製品(または電池)が熱くなる、煙が出る、焦げ臭いなどの異常が起きた場合、十分注意して電池を取り出し、弊社までご連絡ください。
※衝撃や圧力を与えないでください。落下や衝突により破損した場合、内部に手を触れないでください。
※水などの液体に触れないようにご注意ください。水没や、内部に水が入った場合、火傷などに注意して電池を抜き、速やかに弊社までご連絡ください。
※本体や取り出した電池など、乳幼児の手の届かない場所に置いてください。
※極端な低温、または高温状態の場所、湿った場所やホコリの多い場所、外部からの影響を受けやすい場所への放置や保管は避けてください。特に直射日光、自動車のダッシュボードやリヤーパネルの上などに放置しないでください。
※本製品を廃棄する際は、電池を本体から外した上で各地方自治体の処理方法に従って処分してください。

各部の名称

バッテリー収容部 ❽
赤外照射器 ❾
三脚座 ❿
レンズキャップ ⓫





❶対物レンズ
❷対物レンズフォーカスリング
❸アイピースフォーカスリング
❹赤外照射(IR)スイッチ
❺赤外照射LED(赤)
❻電源LED(緑)
❼メインスイッチ

日中での使用

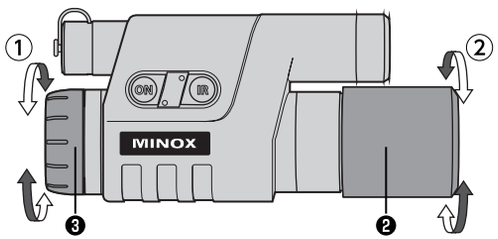
⚠ 注意事項：増幅器は極めて繊細な部品です。不用意に日中光にさらすと修理不能な損傷を受ける場合があります。日中は絶対にレンズキャップを取り外さないでください。

●スイッチを入れる
メインスイッチ❼をOnにすると電源LED❻(緑)が点灯します。スコープを覗くと、明るいグリーンの蛍光像を見ることができます。

●スイッチを切る
メインスイッチ❼を押して電源をOffにします。スコープを覗くと、グリーンの像が短時間見えてから消えます。これは故障ではありません。ナイトビジョンスコープは、スイッチを切ると一定の短い時間が経過してから画像が消えるようになっています。

夜間での使用

●スイッチを入れる
レンズキャップを取り外し、メインスイッチ❻をOnにすると電源LED❻(緑)が点灯します。
アイピースを覗くとグリーンの蛍光像が見えます。



●調節
20～30m先の物体にスコープを向けてください。
①アイピースのフォーカスリング❸を回すと次第に像がシャープになります。
②今度は先端のフォーカスリング❷を回すと像はさらにシャープになります。
必要に応じてこの操作を繰り返します。

●赤外照射器(IR)
光量が不足する条件下では赤外照射器❾を使います。暗い場合では赤外照射器(IR)スイッチ❹を入れます。赤外照射LED(赤)❺が点灯し画像がはっきりと見えてくるはずです。

●スイッチを切る
メインスイッチ❼を押してOffにします。アイピースを覗くと、グリーンの像が短時間見え続けてから消えます。これは故障ではありません。ナイトビジョンスコープは一定の短い時間が経過してから消えるようになっています。

重要事項
※バッテリーの消耗を防ぐため、電源をこまめに切ることをお奨めします。
※スコープをケースにしまう場合、レンズキャップが取り付けられているかを必ず確認してください。

保守に関して

レンズの反射防止膜が湿気や腐食性物質により損傷を受ける場合があります。保管の際は、湿気や埃の多い場所を避けバッテリーは抜いておいてください。レンズ面の埃などを除去する場合は乾いた柔らかい布でそっと拭いてください。移動の場合は必ず専用ケースに入れて運んでください。

[レンズとアイピースの清掃] 埃、塩分、油、付着した指紋などは光学性能を劣化させます。また、レンズ面の多層膜コートに損傷を与えますので必ず拭き取ってください。レンズ面を清掃する場合はレンズクリーニングブラシまたは圧縮空気を用いてください。指紋の汚れなどがある場合はレンズテイシューとレンズクリーナーを用いて拭き取ってください。ミノックスのクリーニングセット(69731)をお奨めします。カメラ店やスポーツ用品店などで売っている市販のレンズクリーニング用品を使うこともできます。

故障かなと思ったら

スイッチが入らない
→バッテリー残量とバッテリーが正しく入っているかどうかを確認してください。

画像が見えない
→スコープを物体に向け、アイピース調整をして画像がシャープになるかどうかを確認し、次にフォーカスリングを回してさらにシャープになるかどうかを確認します。この作業を反復します。

フラッシュ
→メインスイッチを入れた後の2分間程度の間にフラッシュ減少が起こる場合があります。周囲が明るすぎる場合にこの現象が継続します。レンズキャップを付けている場合でも起こることがあります。暗い場所ではこの現象は少なくなるか完全になくなります。

スコープが曇る
→低温条件下から急に暖かい場所に置くと冷却されたレンズ面に湿気の凝縮が発生する場合があります。周囲温度に順応するためには多少の時間を必要とします。

画像が見えにくくなるか消える
→過度の光(月光、スポットライト、投光器の光)などで見えなくなる場合があります。そういった際は直ぐにスコープを光源からそらしてください。2分ほどで画像が見えてきます。濃い霧やもやがかかっている場合や、極端に暗い場所などでは近距離でしか見えなくなる場合があります。

視野の中に黒のドットが現われる
→スコープで見ていると視野内に黒のドットが現われる事があります。これは光学的欠陥ではなく、このタイプのナイトビジョンの典型的特徴です。